

二月例会 御案内 (平成三十年) (通算第六八二回)

公益財団法人 協和協会

○ 御案内

二月二十六日(月)十一時半より入館可、正午(午後二時半) 参議院議員会館一階 一〇二会議室
講師 韓国の北朝鮮への対応、対日・米・中国関係！
講師 武藤正敏先生(外交経済評論家・元駐韓国大使)

◎ いま、世界は、北朝鮮の度重なる核実験・ICBM(大陸間弾道ミサイル)発射をはじめとし、挑発的言動に振り回されており、これに對して、トランプ米大統領がどう対応するのか、注目されております。また、世界が北朝鮮へ経済的圧力を強化している最中に、韓国の文在寅大統領は韓国の平昌にて冬季オリンピックが開催されるのを機に、北の金正恩軍事委員長に選手団の派遣を要請し、北はこれに應じて選手団のほか応援の美女軍団や芸術団を送り込み、南北友好ムードを醸成しつつあり、世界を驚愕させております。

□ この冬季オリンピックの開催中は、まずは米朝の軍事衝突はないでしょうが、そのあとどうなるか？ また、中国、ロシアがどう出てくるのか、心配です。
そこで今回は、三年にわたり、駐韓国日本大使をつとめられた武藤正敏先生に、北朝鮮をめぐる東アジア情勢の分析・御解説をいただきます。奮っての御参加お待ち申し上げます。(清原記)
□ 当日会費(昼食付き) 会員は四千円、非会員五千円。

公益財団法人 協和協会 当日連絡先 080-8836-6203 重田

二月二十六日(月)の月例会は <http://www.kyowakyokai.or.jp> (通話のみ)

出席 欠席 (いずれかに〇印を) 電話 03-3581-1192

御芳名 FAX 03-3507-8587

貴方様の FAX メール

▽二月二十二日(木)までに欠の御連絡賜りたく。

◎ 御報告

正月十五日には、慣例により、当「公益財団法人 協和協会」と「時代を刷新する会」共催の「新春懇親会」安倍政権で外患内憂の克服を！が、ホテル・ルポール麹町にて開催された。正午に開会宣言後、まず、安倍晋三内閣総理大臣から頂戴した御丁寧な祝電が、壇上において清原淳平専務理事より、代読御披露された。続いての、岸信夫会長代行の年頭挨拶は、岸信夫衆議院議員が、昨年の外務副大臣のあと衆議院議院運営委員会理事・自民党国会対策委員長という、国会から離れられない要職にあったので、この国会開会前のお正月は、地元行事が重なり、御欠席となったので、御起案いただいた「年頭挨拶」は、議員会館結めの永瀬祐見子秘書さんが壇上にて代読した。全力を挙げて安倍内閣を支えて行くとの御信念で、一同決意を新たにされた。そのあと、半田晴久理事長が「年頭挨拶」に立ち、学校を経営し事業を支援し、芸術、演劇、また、ゴルフやサッカーなどスポーツも支援してきているが、すべて共通して言えることは、心・技・体が整っていることであり、さらに、それに高い志と情熱があつてこそ、ことは成功する。私は、志を高く持って、今年も協和協会、時代を刷新する会を支えて行く所存です。皆さんも、どうか志を高く持って、協和協会、時代を刷新する会の活動に取り組んでいただきたいと結んで、盛大な拍手を浴びました。
次いで、大野功統元防衛庁長官が乾杯の音頭をとり、食事に入り、その後、両団体の部会長や委員長をはじめ、参加会員から発言が相次ぎ、新春懇親会にふさわしい、和やかな会合でした。この新春懇親会については、事務局で、その「写真報告」を編集しておりますので、二月例会当日には配付いたします。(清原記)

▽ 当「公益財団法人 協和協会」とは

昭和四十九年、岸信介元総理によって創立された財団。活動趣旨は、「政党・派閥・利害・打算の次元を超えて、真に国家的課題を調査研究し、特に重要課題は、政府宛要請書を作つて、時の政府へ提出する」ことにある。昭和五十四年から本格活動に入り、月例講話会のほかに、八つの部会と、五、六の委員会があり、これまでに百三十七本の要請書を時の政府へ提出している。第二代会長は福田赳夫元総理、第三代会長は桜内義雄元衆議院議長、第四代会長は塩川正十郎元財務大臣、第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員、現在、第六代は代表理事兼会長代行として、岸信夫衆議院議員・前外務副大臣・現議院運営委員会理事が就任している。

▽事務局電話(03) 3581-1192 代表理事兼専務理事・清原淳平、総務 重田、高津